科目名 Subject	日本語総合Ｅ General JapaneseE		教員名	日本語ﾁｰﾑ	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	選必	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	○	○	◎	◎	◎
科目の概要	この科目はライティングの授業を行う。「留学生に必要な書く力をつける」。書く決まりである表現形式や情報を文書にするにはその決まった表現形式、報告文には報告の表現形式、意見文にもきまった表現形式があり、また段落の作り方、レポート文を書くための基礎知識なども学習する				
授業の目標	レベル１の段階では短文から段落作成まですることができる。レベル２ではいろいろな文章を書くことができる。レベル３でレポートを書く基礎知識や順序だててレポートを書くことができる。引用もすることができる。など留学生に必要な書く力をつけることができる。				
時間外学習 （予習・復習）	書くということは授業時間内でできるには限界があるので、予習でテーマとアイディアを準備し、復習では内容を再度改めて、自分のスキルにしなければならない。それに十分時間をかけることによって大学生としての実力をつけることができる。予習には60分以上、復習にも60分から90分くらいはかけること				
教科書・教材	教科書	大学で学びための日本語ライティング			
	教材	パソコンでレポートの下書きから清書まで行う			
	使用設備・備品	パソコン			
	参考文献				
評価方法	平常時の提出分の内容と回数で40%、期末試験で50%、普段の努力度で10%の割合で80以上はA,70から79まではB,60から69はC、それ以下はDで不可です。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	テーマやトピックスにいて、事前情報をきちんと収集してから出席してください。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	レベル１　第一課　短文を作る 簡潔に回答する	必要な文章表現を習得することができ、簡潔に文章で回答することができる	１回目の授業はオリエンテーションをするので、その内容を家でしっかり確認しておくこと
第２回	第二課　情報を文章にする	必要な文章表現を習得することができ、得た情報を文章にすることができる	この短期大学の特徴を後輩に説明できるよう情報を集めておくこと
第３回	第三課　状況を説明し、意見を述べる	必要な文章表現を習得することができ、状況を説明することができ意見も述べることができる	電車の中での悪いマナーの状況を調べメモしておく。そのことに対しての意見を考えておく。文章表現の定着を復習
第４回	第四課　段落を作る	中心文と支持文をで段落を作ることができる。また文や段落をつなぐこともできる	復習を中心に中心文と支持文をたくさん作り、提出すること
第５回	レベル２　第五課　体験したことを報告する文を書く	体験したり見学したことを報告文にすることができる	いままで一番おもしろかった体験や見学の内容をメモしておく。必要な表現で体験、見学した内容を文章で復習する
第６回	第六課１　テーマに沿った意見文を書く	環境を考えた生活をテーマに、テーマに沿った意見文を書くことができる	省エネルギー、ごみ問題について情報を集め意見をまとめてメモしておく。必要な表現で自分の考えたことをまとめる
第７回	第六課２　テーマに沿った意見文を書く	環境を考えた生活「水」「食べ物」をテーマに沿った意見文を書くことができる	水問題、食べ物問題など必要なテーマ問題を調べておき、授業後は必要な表現で意見文が十分か再検討する
第８回	第七課１　就職を前提にした自己アピール文を書く（１）	サンプル文から自己アピール文作りのプロセスを理解することができ、自己アピール文を書くことができる	復習を中心に、相手にわかってもらえる自己アピールのアイディアをまとめる
第９回	第七課２　就職を前提にした自己アピール文を書く（２）	自分の長所、資格、信条、経験など自己アピール文を書くことができる	長所、資格、信条など自己アピールするアイディアをなるべく多くメモし文にする。授業後は添削を検討しておく
第１０回	レベル３⑴レポートを書く レポートを書くための基礎知識	レポートを作成の手順　　テーマ設定から提出までの手順を理解し実行できる	復習を中心にレポートができあがり提出するまでにかかる時間なども含め全体をイメージし、覚える
第１１回	⑵レポートを書く 基本的な段落構成	基本的な段落構成をすることができる	序論、本論、結論という構成作りをサンプル文をしっかり頭の中にいれる
第１２回	⑶レポートを書く レポートを書くときに使われる表現	レポートを書く上で必要な文体と主な表現を身につけることができる	文体と主な表現は何度も書いて覚える。使いこなすまで練習する
第１３回	⑷レポートを書く レポートを書くときに使われる語彙（書き言葉）	書き言葉を話言葉の区別と実際に使うことができる	話ことばや雑談の日本語を書き言葉にしておき、クラスで発表　授業後は書き言葉中心にいくつか伝言を作成し提出
第１４回	⑸　順序立てて、レポートを書く	サンプル文の話題の提示、順序、まとめを参考に「少子化」のレポートを作成し提出する	少子化のレポートは授業時間以外で継続して作成すつこと。期限は原則１週間後
第１５回	15回の総まとめと試験対策	総まとめのキーワードを発表するのでメモし試験準備の参考にする	総まとめと試験の準備　先生からの注意をよく確認して復習しておく